

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
L205	都市と交通Ⅱ / 都市計画論Ⅱ	2年	講義	2	古池弘隆
授業概要 都市交通問題解決のために、自動車技術の高度化、交通需要管理、LRTやバスなどの公共交通の推進、自転車交通の推進などさまざまな施策について学びます。また、交通は都市構造のあり方に深く関係していることから、TODやコンパクトシティなどの最新の考え方を海外の最新事例も含めて紹介し、人口減少・少子高齢化時代に持続可能な交通まちづくりについて考えていきます。特に、宇都宮市が現在行っている日本で最初の LRT の新設工事や、自転車のまち推進計画など、交通未来都市への取り組みについて詳しく紹介します。					
到達目標(学習の成果) ・都市における交通問題の解決策には、公共交通、自動車、自転車などさまざまな方法があることを学ぶことができます。(DP3) ・都市と交通に関する問題解決手法として、代替案の列挙と評価の手法を身につけることができます。(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	自動車技術の進歩	脱温暖化に向けたハイブリッド車や電気自動車などの新しい技術や、自動運転など ICTを活用した次世代の自動車についての最新の情報を紹介します。			
2	交通需要管理(TDM)	交通渋滞の緩和をめざして、自動車のより効率的なさまざまな利用の方法を考えたTDMについて学びます。			
3	TDMの事例	フレックスタイム、HOV、ロードプライシング、在宅勤務などTDMの5つの分野の詳細を事例を交えて紹介します。			
4	公共交通の種類	地下鉄、新交通システム、モノレール、リニアーカー、デュアル・モード・ヴィークルなどさまざまな公共交通機関の分類と特徴について学びます。			
5	公共交通(バス)	バス交通はマイカーの普及と共に衰退してきましたが、最近BRTやコミュニティ・バスなど新しい方式が導入され、再び活性化に転じてきています。			
6	公共交通(LRT)	新しい時代の路面電車であるLRT(Light Rail Transit)は世界中で普及が広がっていますが、日本での路面電車の歴史と現状、そして課題について論じます。			
7	宇都宮のLRT計画	宇都宮では日本で最初となるLRTの計画が進行中です。宇都宮LRTの経緯と課題、そして今後の展望について紹介します。			
8	土地利用と交通	モータリゼーションの進展による都市のスプロールから、歩行者・自転車・公共交通を中心としたコンパクトシティへの総合交通政策の必要性について考えてみます。			
9	公共交通指向型開発(TOD)	LRTや鉄道などの公共交通が成功するためには、各種のTOD開発が必要です。TODに関する海外の事例や国内の動向について紹介します。			
10	モビリティ・マネージメント	公共交通をいかに使いやすくするかをめざして、モビリティ・マネージメントや運輸連合などさまざまなソフト施策が展開されていますが、それらについて考えてみます。			
11	自転車交通の現状と課題	自転車は手軽な交通手段として広く利用されていますが、自転車交通事故の増加や法制度の不備などさまざまな問題が起こってきています。			
12	海外の自転車交通	最近自転車は世界的に見直されてきています。特に世界中で急増しているシェアサイクルが公共交通として普及していることを紹介します。			
13	自転車によるまちづくり	宇都宮は他の都市に先駆けて自転車のまち推進計画を策定し、自転車によるまちづくりを推進しています。その計画とこれまでの成果について紹介します。			
14	歩いて楽しいまちづくり	最も基本的な交通手段としての徒歩交通への再認識が世界中で広がってきています。バリアフリーや都心の活性化など我が国での取り組みについて考えてみます。			
15	これからの交通政策	脱自動車依存社会をめざして、持続可能な都市と交通のありかたを見据え、交通未来都市へ向けた取り組みについて考えます。			

準備学修(授業外の自己学修)

毎日の通学などで、交通は必要不可欠な生活行動の一部となっていることを認識し、安全で快適な交通のあり方について考える習慣を身につけます。特に、徒歩、自転車、公共交通、自動車など様々な交通機関の長所・短所とそれらの相互関係について考えてみます。そして授業においてそれを具体的に発表し、ディスカッションする準備を行います。

成績評価の方法・基準(%表記)

理解を促進するため、講義の進捗状況に応じて、何回か簡単なテスト・レポートを行います。その評価は20%
期末試験の成績 60%、受講態度の評価 20%

観点	S	A	B	C
都市における様々な交通手段に対する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
都市と交通のあり方に関する考え方	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

交通まちづくりに関する行政資料等のコピーを必要に応じて配布します。

具体的には、宇都宮市が発行している、「LRT がまちを変える」、

「公共交通ネットワークの構築と東西機関公共交通」、「宇都宮市自転車のまち推進計画」など。

履修上の注意・学修支援

出席状況・受講態度を重視します。出欠は毎回授業開始後 30 分の時点でエクセル表示により確認します。

全 15 回の講義の 3 分の 2 以上の出席がなければ期末試験を受験することはできません。

また、授業内容に関する質問を歓迎し、積極的に学生の意見や考え方についての発言を促します。